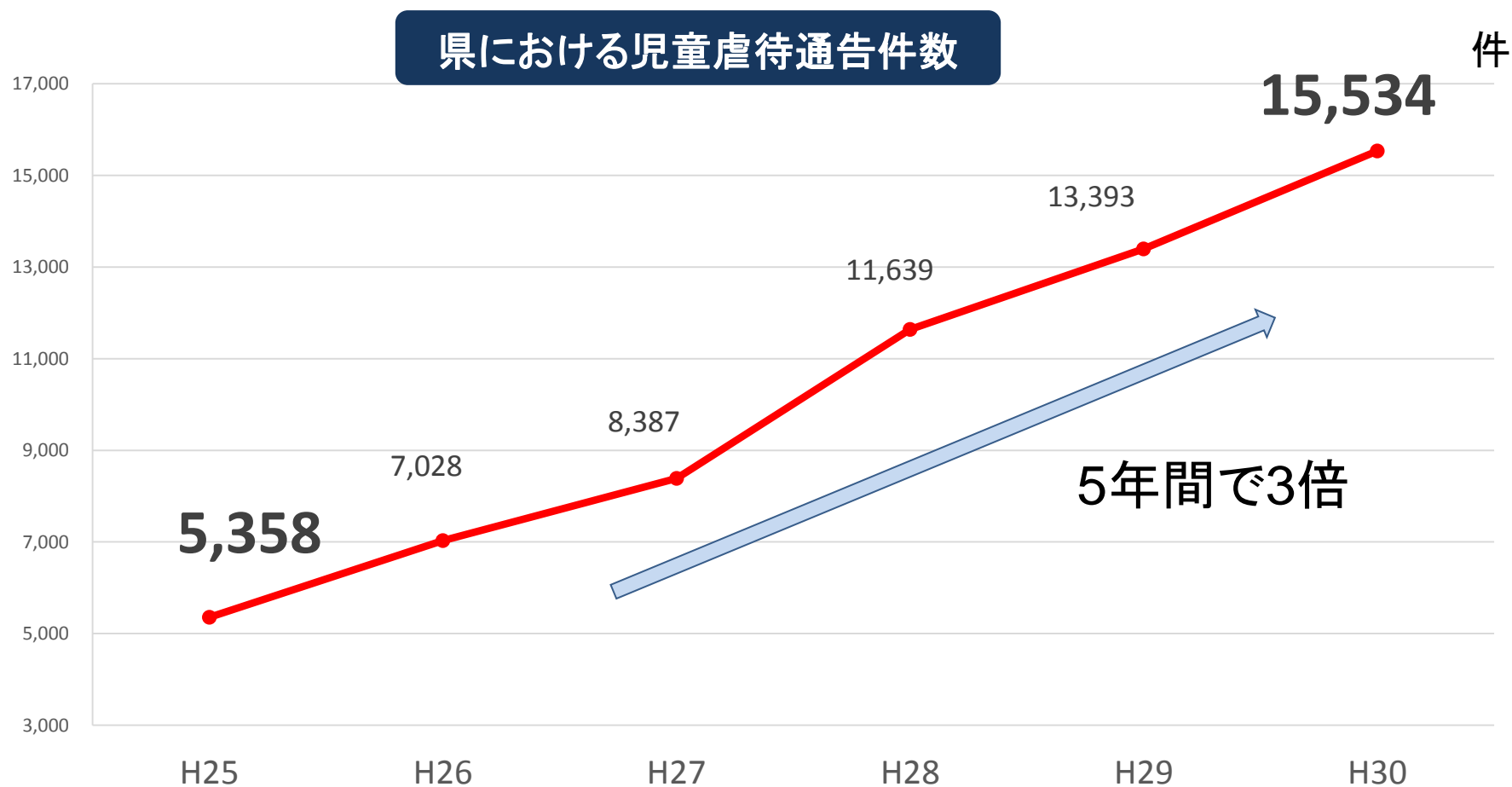


県の児童虐待の現状と取組

埼玉県福祉部こども安全課

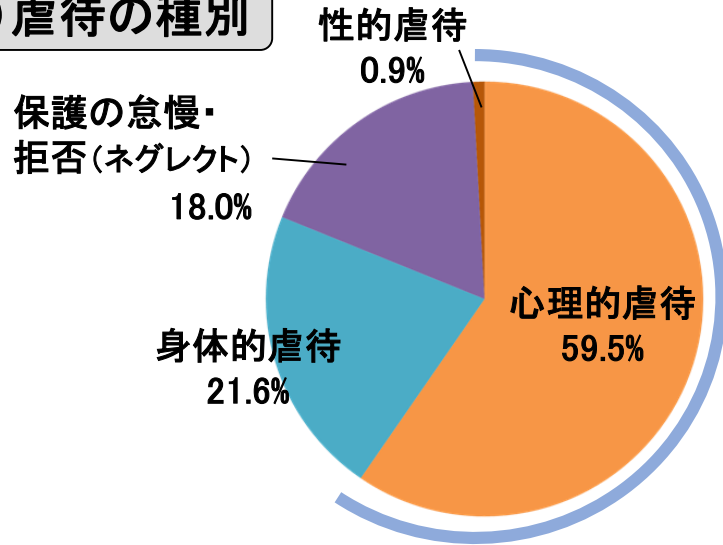
1 児童虐待通告件数

- 県内の児童相談所における通告件数は年々増加
- 平成30年度は15,534件となり、前年度に比べて16.0%増加
5年間で3倍となる



2 虐待通告の主な内容

(1) 虐待の種別

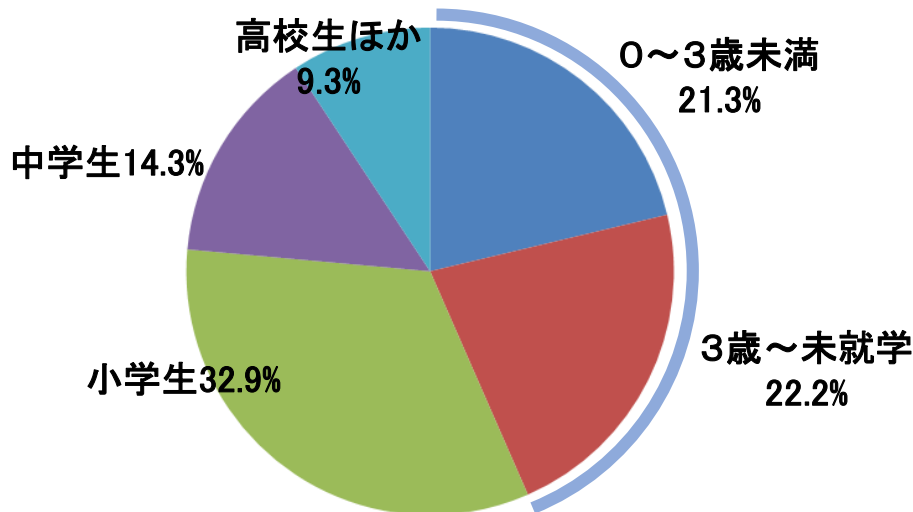


○ 心理的虐待(夫婦間でのDV目撃、児童への暴言など)に係る通告が約60%を占める

- ◆ 児童虐待の定義(児童虐待防止法第2条)
 - 心理的虐待…児童への暴言、子供の面前での夫婦間の暴力など
 - 身体的虐待…児童の身体に外傷が生じるような暴行など
 - 保護の怠慢・拒否(ネグレクト)
 - …児童の発達を妨げる減食・長時間の放置など
 - 性的虐待…児童へのわいせつな行為など

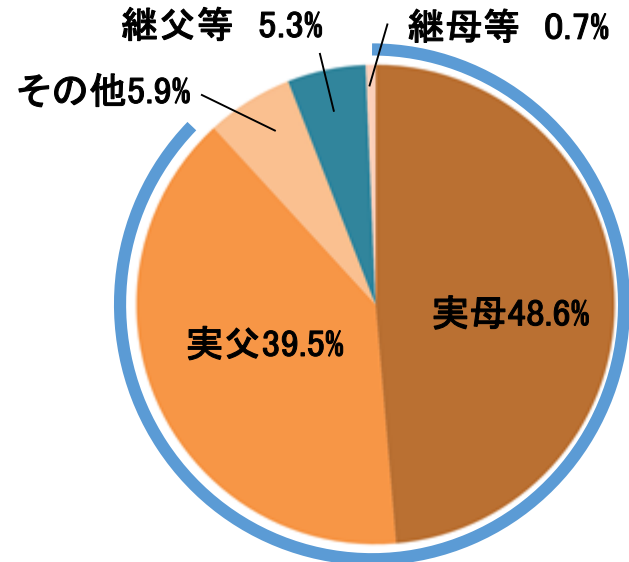
(2) 被虐待児の年齢

○ 就学前の乳幼児が43.5%と半数近くを占める



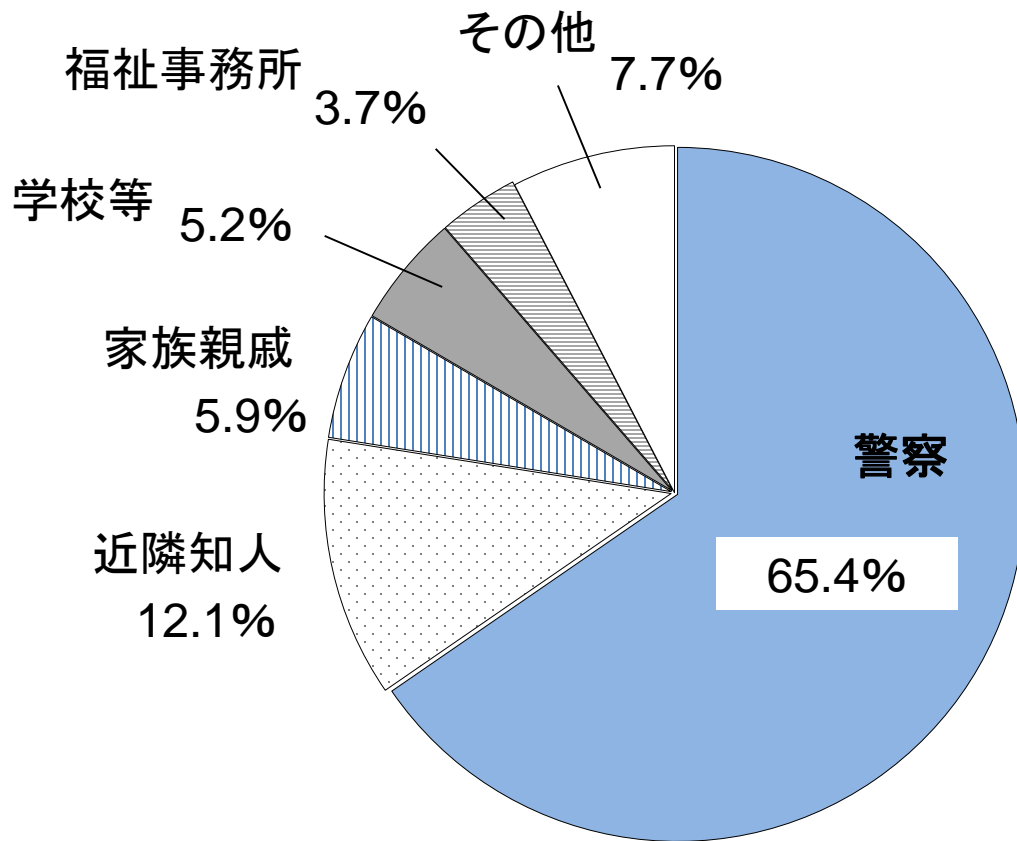
(3) 主な虐待者

○ 約90%が実父母からの虐待である



3 児童虐待通告経路

○ 警察からの通告件数の占める割合が高く、
H30年度は全体の65.4%を占める

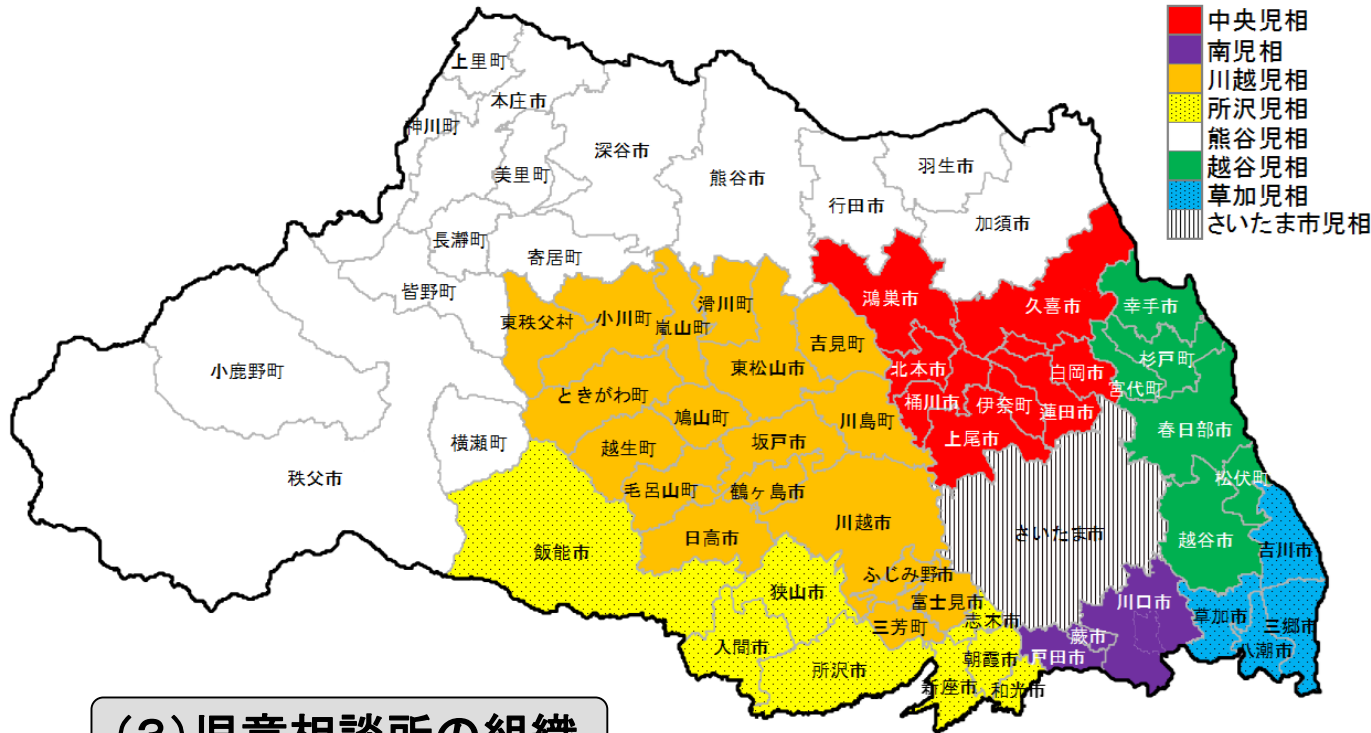


◆ 通告件数15,534件の内訳

- 警察 10,160件
- 近隣・知人 1,879件
- 家族・親戚 917件
- 学校等 813件
(学校、幼稚園、保育園)
- 福祉事務所 581件
- 医療機関 245件
- 児童本人 89件
- その他 850件
 - ・児童福祉施設等 43件
 - ・民生委員・児童委員 19件
 - ・ほか(他都道府県、匿名など) 788件

4 児童相談所管内図及び管内人口等

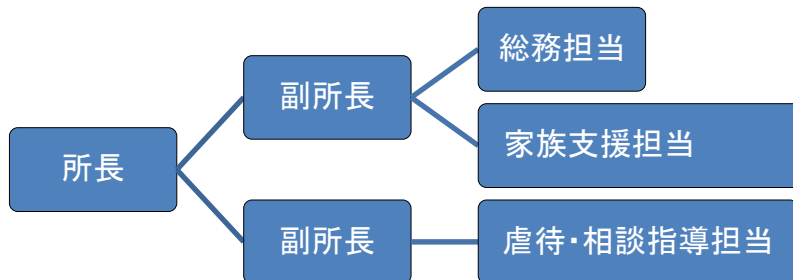
(1) 児童相談所管内図



(2) 管内人口等概要

管内	人口	通告件数
中央	793,130	1,602
南	806,496	2,058
川越	1,113,864	2,034
所沢	1,180,900	2,293
熊谷	842,720	1,741
越谷	733,321	1,501
草加	554,689	1,368
さいたま市	1,301,861	2,937
合計	7,326,981	15,534

(3) 児童相談所の組織



施設入所後の家庭復帰に向けた子供や保護者への支援

虐待の相談、通告受理後の子供の安全確認や一時保護地域の関係機関と連携した在宅の子供や保護者への支援

5 児童虐待に関する県の主な取組

1 虐待通報窓口の普及啓発

- ・児童相談所虐待対応ダイヤル（189）や県虐待通報ダイヤル（#7171）などへの通報窓口の普及啓発

2 児童相談所の体制強化

- ・児童福祉司などの増員、草加支所を本所化し草加児童相談所を新設（H31.4月～）
- ・迅速かつ適切な一時保護の実施

3 妊娠期からの相談支援体制の充実

- ・ワンストップで相談に応じる市町村の子育て世代包括支援センターの人材育成・財政支援
- ・産科医療機関や行政機関との連携による要支援妊産婦の把握・支援

4 関係機関との連携強化

- ・警察との虐待情報の共有
- ・児童相談所OBを市町村に派遣し支援、市町村職員への研修の実施など人材育成への支援
- ・「児童虐待防止サポーター」を養成（保育士、幼稚園教諭、教員、民生委員・児童委員など）